

新ゴールデンルートに追い風

愛媛県松山市

～日本初! 地域web版「ミシュラン・グリーンガイド」開設 松山で記念セレモニー開催～



「ミシュラン・グリーンライナー」号



記者発表にミシュランマンも登場

愛媛県松山市で8月19日から松山空港と道後温泉を結ぶ伊予鉄道のリムジンバスとして「ミシュラン・グリーンライナー」号の運行がスタートした。7月26日には、JR四国初となるJR松山駅を発着する本格的な観光列車「伊予灘ものがたり」の運行もスタートするなど、鉄道やリムジンバスが観光資源となる取組が相次いだ。新ゴールデンルート(京都・広島・松山)に加わった魅力を紹介する。

「ミシュラン・グリーンライナー」号は、10月に開設される「ミシュラン・グリーンガイド」SHIKOKU(Web版)の開設を記念したものである。同Webサイトは、四国運輸局が四国ツーリズム創造機構と連携して、Webサイトによる情報発信事業を日本ミシュランタイヤに依頼し実現した。日本を初めて地域版ガイド、同サイトには、発行中の「ミシュラン・グリーンガイド」に「Japan」に掲載されている四国の情報に加え、

人観光客の四国への呼び込みについて、外国の旅行会社やメディアの招聘、海外への旅行博覧会への出張などさまざまな事業を四国ツーリズム創造機構や関係自治体と連携しながら実施してきた。昨年訪日外国人客数は1000

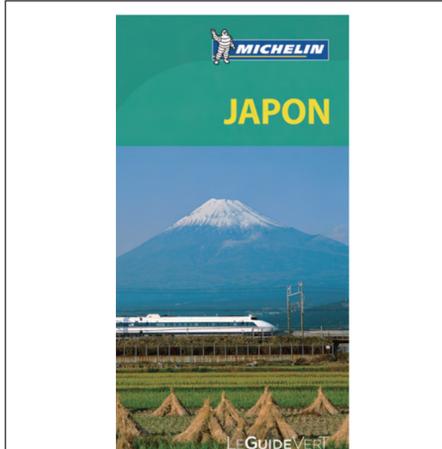
万人を突破し、今年も好調で、1月から6月まで26パーセント増の620万人。少子高齢化が進む四国では訪日外国人観光客の増加が重要。ミシュラン・グリーンガイドは欧米を中心に外国人観光客に影響があるグリーンライナー1号との相乗効果も期待している。

野志「松山市は広域連携、官民連携で外国人観光客誘致に挑戦している。昨年の観光庁の新ゴールデンルート(京都、広島、松山)の提案に引き続いて、ミシュラン・グリーンガイド、SHIKOKU(Web版)開設と「ミシュラン・グリーンライナー」号の運行開始は大きな追い風。こうした

「移動する」との思いを理念に作られている。グリーンライナー号は、グリーンガイドのイメージを、同ガイドブックをイメージさせる緑色のカラーで、ミシュランマンや松山城や道後温泉本館などが描かれている。空港へのリムジンバスとして、松山空港、松山市駅、道後温泉を一日13本(最高運行)する。

「ミシュラン・グリーンライナー」号運行開始 日本ミシュランタイヤ社長来訪

「移動する」との思いを理念に作られている。グリーンライナー号は、グリーンガイドのイメージを、同ガイドブックをイメージさせる緑色のカラーで、ミシュランマンや松山城や道後温泉本館などが描かれている。空港へのリムジンバスとして、松山空港、松山市駅、道後温泉を一日13本(最高運行)する。



「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」©MICHELIN 改訂第3版(フランス語)概要 ページ数:679ページ

【フランスでの参考店頭価格】27.9 ユーロ 全国主要洋書取扱書店で取り扱っている。

「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」掲載の三つ星、二つ星、一つ星の観光地は、日本ミシュランタイヤのウェブサイト(<http://www.michelin.co.jp>)に掲載している。

掲載地は旅行者へのお薦め度という観点で、星なしから「わざわざ旅行する価値がある」という三つ星まで分類。星は「わざわざ旅行する価値がある(★★★)」、「寄り道する価値がある(★★)」、「興味深い(★)」を意味する。この評価は、「ミシュラン・グリーンガイド」独自の9つの基準に従って決められる。

- 1.旅行者がその観光地を訪れた時に受ける第一印象
- 2.その場所の知名度
- 3.文化財の豊かさ、レジャーの充実ぶり
- 4.ユネスコの世界遺産などの公的評価
- 5.芸術品や史跡の固有の美術的価値
- 6.美観
- 7.作り物ではない本物としての魅力と調和
- 8.旅行のしやすさと利便性(施設整備、アクセス、維持管理など)
- 9.旅行者の受け入れの質

〈愛媛県松山市の評価状況〉
 三つ星 道後温泉本館
 二つ星 松山、松山城、道後温泉
 一つ星 松山城からの眺望、石手寺
 参考:愛媛県今治市と広島県尾道市を結ぶ「瀬戸内しまなみ海道」は一つ星には選ばれている。

問い合わせ先
 松山市産業経済部観光・国際交流課
 〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目 7-2
 TEL089-948-6558 FAX089-943-9001
<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/>



運行記念セレモニーの様子



ベルナール・デルマス・日本ミシュランタイヤ社長が松山城(ミシュラン二つ星)、道後温泉本館(同三つ星)、石手寺(同一つ星)を訪れた



ベルナール・デルマス・日本ミシュランタイヤ社長が松山城(ミシュラン二つ星)、道後温泉本館(同三つ星)、石手寺(同一つ星)を訪れた



ベルナール・デルマス・日本ミシュランタイヤ社長が松山城(ミシュラン二つ星)、道後温泉本館(同三つ星)、石手寺(同一つ星)を訪れた



観光列車「伊予灘ものがたり」出発式



車窓からの伊予灘



松山市観光俳句ポストを贈呈

観光列車「伊予灘ものがたり」料理やワインも楽しめる

JR四国の観光列車「伊予灘ものがたり」は、瀬戸内海の一部、伊予灘の車窓と食事を楽しめる本格的な観光列車となる。車内の木肌、洋風のソファ、和風建築の障子をイメージした窓のデザインを組み合わせるなど、和と洋を調和させた懐古調のデザインとした。1号車「西」の章は、外観が茜色で、和座席を設ける。2号車「東」の章は、外観が黄金色で、車内には、パースタイルのタイニングカウンターを設置するなどモダンスタイルを採用した。

1、2号車ともに展望シートが配置され、車窓を楽しむのに最適な。地元素材の活用として、1号車の洗面所には、砥部焼の洗面鉢を設置。また、伊予灘ものがたりは、歴史文化も素晴らしい。本格的な料理やワインが楽しめる観光列車。松山や道後温泉など沿線に多くの

予灘の絶景を望む海向き展望シートには、愛媛県産のひのきを使用したテーブルを設置している。車内の食事は、沿線のレストランなどと提携して、地元素材などを使った事前予約制の食事を提供している。アテンダントが乗車し観光案内や車内販売なども行っている。

観光客が増えることを期待している。野志市長は観光俳句ポストの贈呈で「JR四国とパートナーを結んで、おのりかできないかと考え、観光俳句ポストの贈呈を行うことにした。観光俳句ポストは1966年の正岡子規の生誕100周年を記念してスタートした。市内94カ所、海外も含めると108カ所に設置している。観光列車で伊予灘を見てもらい、訪

「JR四国初の本格的な観光列車 沿線の観光客増加に期待」